

## 展示してみよう！ 魅せ方・観せ方・社会へのつなぎ方

### 参加者アンケート集約結果

1. 講師 阪本幸円氏の講演はいかがでしたか。ご感想、ご意見、ご質問等お聞かせください。

- 聴いてみたいと思っていたことが聞けて大満足でした。自分が研修を受けていた空間でイメージしながら技術的なこと、作品や展示物との向き合い方など想像しながら参加できました。
- 1時間の予定が20分超過し、それがそのまま終了時間延長に至り申し訳ありませんでした。本当は休憩時間を入れる予定だったのですが、それがなく参加された方はお疲れだったと思います。つつい前置が長くなってしまい反省しています。
- 作品を展示する上での様々な経験談が聞けてすごく貴重な時間でした。ありがとうございました。利用者の方の作品の魅力や個性がより多くの人に伝えるために私たちができることを事業所内でも考えていきたいです。
- とてもわかりやすいものでした。みせることについて意識を高めることができました。
- なにもわからない状態で参加させていただいたのに、すごく丁寧に分かりやすくお話しをしてくださったので、良い学習になりました。ありがとうございました。表現することは生きること、愛すること、表現者が楽しむように企画者も展示を楽しむなど、心に残ることばかりでした。
- 基本的なことからお話していただいたので、とても分かりやすかったです。
- やさしく丁寧な説明で、展示の基本的なルールを学ぶことができた。
- 作品はただ展示するだけでなく、会場の事、展示会のコンセプト、動線などたくさんの事を考えなければならぬことがわかりました。アートのセンスはほとんどありませんが、障がいのある利用者さんの作品は大好きなので、知ってもらいたいという気持ちと今回勉強した内容を理解して、次の展示があればがんばりたいです。
- 事前アンケートすべてに返答していただけたのは、ありがたかったです。とても分かりやすく大変良かったです。

●アートに関して初心者の私でも分かりやすく丁寧に展示の仕方を説明して下さっていたので、参加できて良かった。

2. ギャラリー風での実際の 展示「わくわく展」の解説等について、ご感想、ご意見、ご質問をお聞かせください。

●橋本ディレクターのセンスが光る空間になっていると思います。ぜひ、行ってみたいです。

●ビデオで撮影していただいたので展示準備の様子はだいたい掴んでいただけたのではないのでしょうか。展示の意図や個々の作品の選定については当事者の橋本さんにお話いただいたほうが良かったかも知れません。

●講演での内容がそのままギャラリーに具体化されており、阪本先生の解説も加えてもらえたので、展示する際の工夫点や気をつける点をわかりやすく学ぶことができました。

●わかりやすいものでした。場(空間)に合った展示の仕方の工夫を学びました。

●一度しか拝見したことがないのですが、作品の見やすさやも考慮されていて、かつ作品の魅力が引き出されるよう工夫されていたのだと、今振り替えることができました。

●グループ作品展を行う場合に、配置を考えたとき、まず何から考えればよいですか？例えば、メインとなる作品を決めるとか、壁面の面積と作品数のバランスを考えるとか？どうしたらよいでしょうか。

●センスよく温かみのある展示がされており、作品が活かされていた。

●何となく展示していた事の原因がわかり、なぜそのように展示するのかということ、納得するようになりました。

●工夫されているのが、わかり、見やすい感じで良かったです。

●オンラインで1点1点作品がじっくり映されての説明で、分かりやすく、ギャラリーの様子がよく把握できた。「わくわく展」のネーミングについての講評もいただきかった。

3. 今回の研修を今後の活動にどのように生かしますか。

●さまざまなイベント開催を行っていく中で、とても参考になる視点を知れました。恥ずかしながら展示を行う上で、テープを使ってしまっているのもとても恥ずかしい気持ちになりました。テープを使わないで、展示できる展示方法など企画者のみんなと考えていきたいと思いました。

- あらためて「作品を展示する」ということを、各種展覧会や展示イベントの際に考えたいと思います。
- 「主役が作品であること」を念頭に企画者も楽しみながら作品展示を行いたいと思います。ただ実際に作品展をするためにはたくさんの時間・労力・経験・経費がかかるので、事業所内の自己努力だけでなく今回のように展示のノウハウを教えてもらえたり、アート活動にかかわる方々との横のつながりづくりをつくってもらえると心強いです。また、作品展開催にあたり助成金の支給など、障害者アートを推進させるためのバックアップをしてもらえると嬉しいです。
- 作品展の際に生かします。
- ハスの実の皆さんの活動に参加させていただいたり、大切なことをたくさん教えていただいたので、これから私たち大学生でつくっていこうとしている学習会などで、どういう風に考えていくかのヒントになったりすると思います。
- 基本的でわかりやすい内容だったので、気軽に身近に小さな作品展を各所で行ってもらえるように広げていきたい。
- ハートフル文化祭では、展示スペースに対して作品の数が多めなので、阪本先生の研修を参考にして、少しでも見た目がゆったりと展示できたらいいと思う。
- アート担当者が今回参加できなかったので、今回の事で参考となることを共有しました。
- 文化祭展示のレイアウトに生かそうと思います。
- 障がいのある利用者さんの作品を集めた小さな個展をしたい。

4. 今回の研修会の運営など、研修会全体についての感想、ご意見等お聞かせください。

- やはりせっかくの機会なので参加された方のご意見を伺うのがいいのでしょうか。そのためには時間配分をある程度詰めておかないといけないと思いました。これが参加者が多くなるとどうするかも課題です。オンライン研修のメリットとデメリットです。あと研修を受ける方の要望で平日のこの時間になったと伺いましたが、その割に参加者が少なかったように思います。
- 今回は、平日でしたが担当授業がなく参加することができました。
- 直接皆さんにお会いしたかったという思いもありますが、オンラインだと参加しやすいですし、体調なども気にしなくてよくて良いなと思いました。途中で退出させていただいたのもありますが、皆さんの意見や感想ももっとお聴きしてみたかったです。

●「わくわく展」の展示作業中、何に困ってどう選択をしたか？助言はなんだったかなどが、もっとわかった方がよかったですと思いました。時間が延長されていたので、質問して進める事も控えました。

●業務の都合もあり、1時間半～2時間以内でやっていただけるとありがたいです。

●職員だけでなく利用者さん参加型の研修があれば喜ばれることも多いです。実際に障がいのある方が絵を描くところをみてもらうことでもっと魅力が伝わるのではと思います。

●ZOOMでの研修であったものの、スムーズに進行されていてよかったです。

●いつ、どこで、などの情報がほとんど無かったので、事業所の上司が知らなかったことが残念だった。

5. 今後、研修会で取り上げてほしい内容やお話を伺いたい講師の方など、ご意見がありましたらお聞かせください。

●「表現すること」を獲得するまでの動機付けをどのように行ったらよいのか？

絵画、木工などの展示編、歌、歌創り、ダンスなどの舞台芸術編 と、それぞれでケース共有でもよいですし、悩み相談とか、できるとよいかと思います。

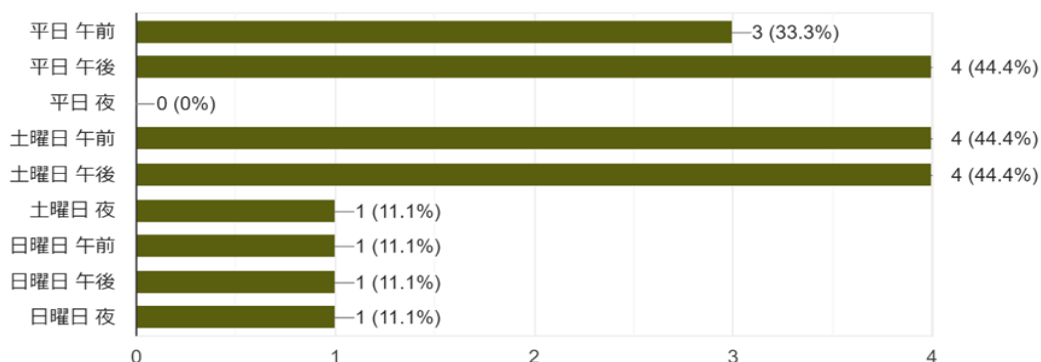
●参加された方とテーマを絞ってディスカッションする時間があると嬉しいです。例えば、実際企画者が作品展(もしくは作業場の展示等)を行ってみての悩み・面白さ・課題を共有する。また、作品の保管方法はどうしているの？「完成」「絵の終わり時」がわからない利用者の方への支援をどうしたらいいの？など、障害のある方の作品づくりの関わりから生まれる悩みをテーマにする・・・など。ご検討いただけたら嬉しいです。

●実際の鑑賞のワークショップなど

●他事業所で行っているアート事例

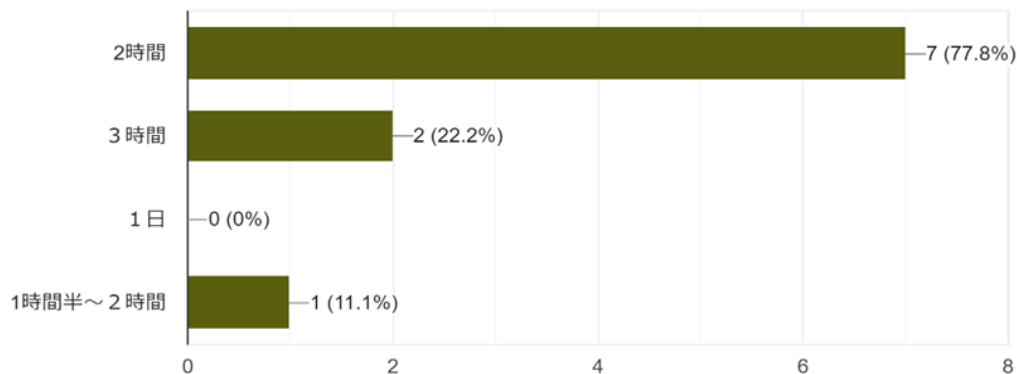
6. 研修会開催の日時について、参加しやすい時をチェックしてください。(複数可)

9件の回答



### 7. 研修会の開催時間はいかがでしたか

9件の回答



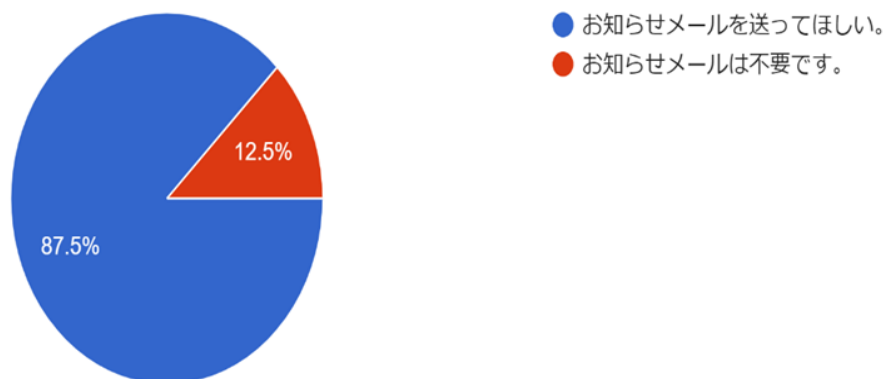
### 8. 当センターの活動について、ご意見等お聞かせください。 2件の回答

● 県内の障がいのある方々の芸術文化活動の情報センターとして大変重要なお仕事をされていると思います。芸術文化活動も幅広く、また県内の障がい者施設の活動も多様だと思いますが、様々なネットワークを駆使して取り組まれることを願います。

● いろいろ発信いただきありがとうございます。

### 9. 今後、当センターから月2回ほど、お知らせ...ますが、よろしいですか？ 選択をお願いします。

8件の回答



ご参加、ご協力ありがとうございました。